

NWEC女性情報アーキビスト研修

デジタル・アーカイブで企業をデザインする

過去を継承し、新しい挑戦を経て、未来へ発信する

創業100周年の企業アーカイブから見えること

2012.12.05

株式会社レ・サンク

坂本洋代

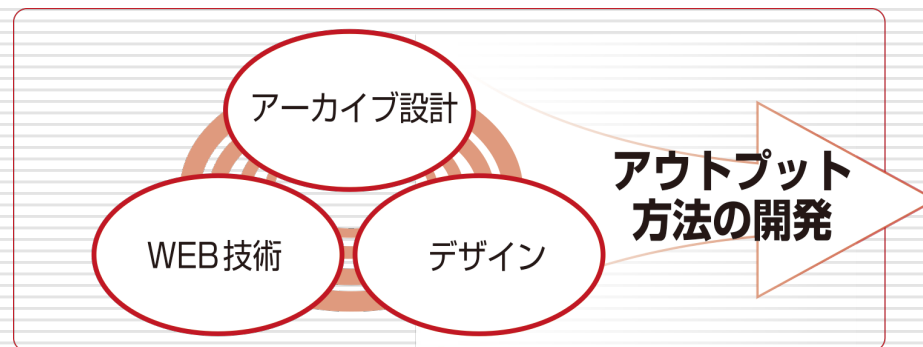
1:はじめに

(株)レ・サンクは、平成3年の創業

“デザインコミュニケーションを通して新たな価値の創造を”をモットーとして、グラフィックデザインを中心とした事業をすすめてきました。

レ・サンのデジタル・アーカイブの取組みは

- 2003年 静岡市児童会館の50年のデジタル・アーカイブ
- 2006年3月には「編集技術を活かした新アーカイブ・ビジネスの展開」で静岡県「経営革新計画」の承認を取得



グラフィックデザイン+web技術に
アーカイブ技術を加え、
アーカイブの新しいアウトプットの形

2: 企業アーカイブの制作

弊社が関わった、
創業100周年企業アーカイブの制作、
で見えてきたことを報告させていただきます。

2: 企業アーカイブの制作

静岡市内A社

- ・1912年創業
- ・静岡県内に6店舗、海外に2店舗を構える
小売専門店



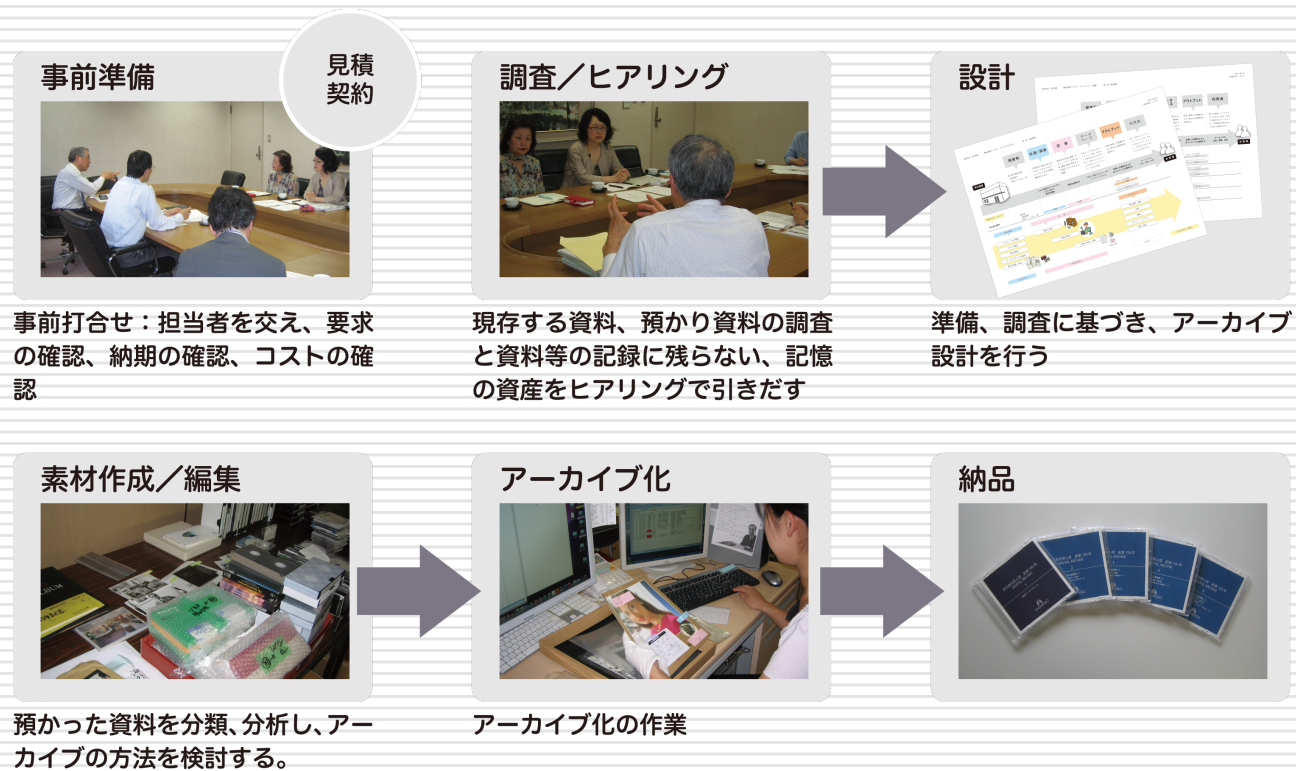
2: 企業アーカイブの制作

歴史、資料を整理し、次世代へ伝えていくために

- 期 間** 2011年7月～2011年11月
 - 種 類** 企業歴史アーカイブ
 - 取 材** 8回実施（内オーラルヒストリー取材 4回）
 - 預資料** 70種類 587点（年表、スキャン資料を含む）
 - 整理資料**
 - スキャン 531点
 - 動画 4点
 - 音声 1点
 - アーカイブシート 207点
 - テキストデータ □ロゴデータ
-

2: 企業アーカイブの制作

制作プロセス



2: 企業アーカイブの制作

成果物

歴史資料をwebコンテンツで構築。

誰でも、短時間で、資料表示が可能になる。

アーカイブを
社内LANに保存



安心堂年表

西暦	年号	年	世帯の動き	安心堂の動き	近代史・事件・人物
1917	明治	45	明治創業 (7月30日)	明治創業。創業。当時は明治の中心地、神戶の繁華にあり、日本各地に支店を設ける。日本各地に支店を設ける。日本各地に支店を設ける。	明治創業。創業。当時は明治の中心地、神戶の繁華にあり、日本各地に支店を設ける。日本各地に支店を設ける。
1912	明治	45	明治創業 (7月30日)	明治創業。創業。当時は明治の中心地、神戶の繁華にあり、日本各地に支店を設ける。日本各地に支店を設ける。	明治創業。創業。当時は明治の中心地、神戶の繁華にあり、日本各地に支店を設ける。日本各地に支店を設ける。
1912	明治	45	明治創業 (7月30日)	明治創業。創業。当時は明治の中心地、神戶の繁華にあり、日本各地に支店を設ける。日本各地に支店を設ける。	明治創業。創業。当時は明治の中心地、神戶の繁華にあり、日本各地に支店を設ける。日本各地に支店を設ける。
1913	大正	2	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)
1914	大正	3	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)
1915	大正	4	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)
1917	大正	6	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)
1919	大正	7	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)
1920	大正	9	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)
1920	大正	9	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)
1920	大正	9	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)	日本赤十字社 (12月)



3: デジタル・アーカイブの必要性

アーカイブの中から見えてくるもの

歴史資料や、記録に存在しない、

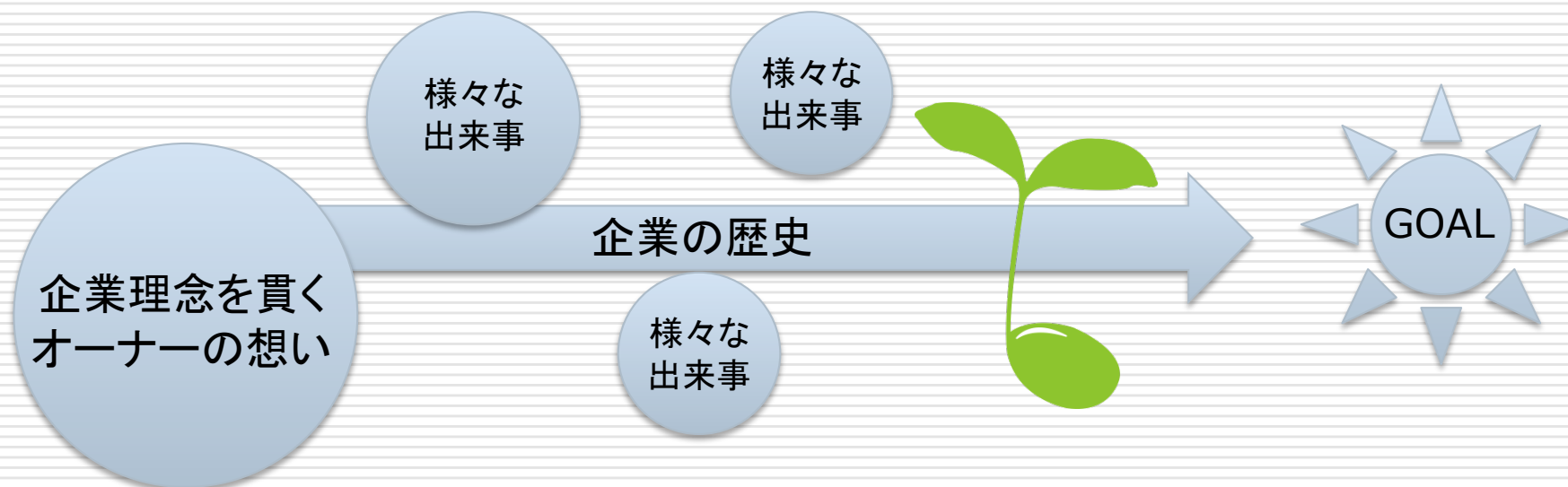
歴史の隙間を客観的に読み解くことで、

歴史の中に登場する、

クリティカルパス(成功要因)を見いだすことができる。

3: デジタル・アーカイブの必要性

企業理念に基づき、蒔いた種が、様々な出来事と、有機的に影響しあい、10~15年で結実(成功)していくことを読み取ることができた。




3: デジタル・アーカイブの必要性

アーカイブ制作後、社内リーダー向けに研修会を実施。

企業マインド(DNA)が何代にもわたり、
すべての活動に通じていることを分析。
事例を通して、研修会にて報告。

3: デジタル・アーカイブの必要性

社内向け企業アーカイブ研修を実施することの意義
周年アーカイブ事業の共有と歴史の再認識



アーカイブを
理解することで

愛社精神の醸成

企業ブランド力
向上

次世代の企業の
一員としての自覚

4: 会社の歴史記録を整理することは

- 会社が見えてくる
 - ナレッジマネジメント: 知識の集合体
 - 企業文化を見直すものとして
-

4: 会社の歴史記録を整理することは

□ 会社が見えてくる

- 1) 企業の歴史を整理することで、暗黙値だった企業文化、情報が、可視化される。
 - 2) 誰でも、簡単に、最短で、必要な情報を手に入れる
→ 新入社員でも100年前の歴史と簡単に遭遇できる
-

4: 会社の歴史記録を整理することは

□ ナレッジマネジメント: 知識の集合体

ナレッジマネジメントとは、知識の集合体であり、個人の持つ知識や情報を組織全体で共有し、有効に活用することで業績を上げようという経営的な手法。

デジタル・アーカイブは、このナレッジマネジメントのツールとして活用できる。

4: 会社の歴史記録を整理することは

□ 企業文化を見直すものとして

アーカイブ化、デジタル化に取り組むことで、今迄暗黙値であった、企業文化が明確になる。

過去の経営、歴史、資源を見直すことで、次世代に向けての経営のヒントを見つけ出すことができる。

4: 会社の歴史記録を整理することは

新しい経営戦略を見だし、企業をデザインする

- 1) 企業の歴史を整理すると同時に、企業文化の整理に
 - 2) 企業の歴史・記録を洗い直し、資源の見直しをすることにより、新しい経営戦略が見えてくる。
 - 3) 過去の記録、記憶、資料を整理することが、未来の整理、企業をデザインをすることにつながる。
-

まとめ

企業アーカイブ制作をすることで、アーキビストという客観的な立場から見えてくる、企業の強み、弱み。

それを貫いているものが、企業理念のもとに成熟していった企業文化。

長い歴史の中で、色々な過程を経て、一定の時間をかけて花開くことができるという、成功へのプロセスを歴史アーカイブのデータから読み取ることができました。
